

## 第12回 新木地区「地域会議」議事録

- 1 開催日時 令和元年10月20日(日) 10:00～
- 2 開催場所 新木近隣センター 多目的ホール
- 3 議 事 司会進行 新木地域会議事務局長
  - (1) 開会挨拶 事務局長
  - (2) 市民活動支援課課長補佐
  - (3) 意見交換おしゃべり  
「地域会議の開催テーマ」  
安全・安心住みよいまちづくりに向けて  
  
「新木地区等子ども支援」の現状把握について(その1)  
イ「子どもの現状把握」について  
ロ「地域の中の子どもの環境」について  
ハ「子どもと大人のつながり方」について  
(押し付けない・理解を分け合う・聞く耳を持つを基本に発言をいただき{見える化}を図りたいと思います。  
ニ 総体まとめ
  - (4) 新木地域会議 感想アンケート
  - (5) 閉会
- 4 出席者 以下の通り  
  
市民活動支援課、事務局、まちづくり協議会、あらき野自治会、ニュー新木会自治会、吾妻台自治会、江蔵地自治会、新木住宅自治会、南新木一丁目自治会、南新木自治会、グループホーム 新あらきのおうち、デイサービス ルーチェ、我孫子特別支援学校、湖北地区公民館、湖北地区社会福祉協議会、湖北地区民生児童委員、湖北中学校、湖北中学校PTA、新木小父親の会、新木小学校、新木小学校PTA、新木地区消防団16分団
- 5 次回予定日 令和2年2月23日(日) 10:00～12:00

# 議事録

## <開会挨拶>

### ・（事務局長）

台風 19 号では大きな被害があり、被害にあった方々もたくさんおられました。私だけは大丈夫と思っても、災害は待つてはくれません。今回の議題は子ども支援についてですが、災害についてもどのような動きをしたらいいかということを含め、改めて考えていきたいと思ひます。

### ・（市民活動支援課）

本日は地域会議にご参加いただきありがとうございます。

現在、地域会議は市内 5 地区で開催されており、それぞれの地域で話し合いが行われています。市としては、より多くの皆さんに自分の住んでいる地域に対してもっと知っていただき、関心を持ってもらいたいと思ひております。

本日は地域会議紹介のチラシをお配りさせていただいています。9 月 14 日～15 日に行われた市民の力まつりで紹介したもので、それぞれの地域会議の取り組みを大きなパネルで紹介をしました。広報でも順次掲載予定で、9/1 に久寺家地区の開催を紹介しています。このあとも順次掲載していきたいと思ひます。

3 月にはアビスタストリートでも取り組みを展示する予定ですので、ぜひアビスタストリートまで足を運んでいただけたらと思ひます。

本日の地域会議は台風の状況などもありましてなかなか重いテーマもあるかと思ひますが、新たなテーマ「子供支援」ということで活発なご意見を頂ければと思ひます。

## <今回の台風に関連し、地域防災について>

### ・（湖北公民館）

12 日にアビスタの館長から臨時休暇と連絡があったのですが、通常勤務しました。公民館を避難所と間違えてくる方が結構いた。ある方は市の土嚢を至急貸してほしいと来られた。市の対策本部に電話し、道路課に連絡した。普段は民家に持っていくことはないが、緊急時ということで対応してもらい、その方は安心して帰られた。

その後も電話はジャンジャンかかってきた。「湖北小に避難に行ったが真っ暗で誰もいない、何をやっているのか」。その時点のレベルは自主避難で、避難指定はアビスタと湖北台近隣センターとふさの風だった。また昼ごろに中峠お住いの 84 才一人暮らしの女性の方から、「避難したいけど車もないどうやって行ったらいいのか？」という問い合わせがあった。こちらからも湖北台近隣センターに何回も電話したが、1 回も出てもらえなかった。対応用品が足りておらず、そのあとの話で午後から増員部隊を派遣したとのこと。

緊迫している電話の状況、来られた方の緊迫している状況を体験しましたので、感想としてお伝えした。ここの近隣センターも避難所指定されたが、坂の上り下りがあり大変だと思ひます。

### ・（事務局長）

自主避難とハザードマップは異なる。今回、アビスタや各近隣センターが避難場所に設定されたという実績ができてしまったことから、次回から自主的に集まると思われる。ふさの風も避難所に指定されたが、低地なので危険なのではないかなとも思ひます。そのようなことを踏まえて市に意見を出していきたいと思ひます。近隣センターが指定されたが、防災マニュアルには小中学校の体育館が避難所として載っている。

・（市民活動支援課）

ご意見ありがとうございます。市民安全課にはきちんと報告させていただきたい。湖北台近隣センター、ふさの風、我孫子北近隣センターの開設は土砂災害の恐れがあったためと聞いている。その後利根川の増水により避難勧告が出たということで、新木近隣センターと近隣センターこもれびを開設した。

移動手段が厳しいということは自分も感じていたので市民安全課に話したいと思っている。

・（新木小 PTA）

高齢の方はかなり多い。民生委員／ケアマネが把握していると思うが、連絡を取り合っているかどうか聞いておきたい。館長に電話しても対応できず、電話のたらいまわしがある。高齢者や障害者の方々をどうやって避難させるのか、自主避難できない方々はどうやって避難するのかというマニュアルはどうなっているか考えていただきたい。また防災案内放送は風が強くて聞きづらいということも考えておきたい。

・（ルーチェ）

台風前日に高齢者支援課から営業するかと聞かれたが、安全を考え朝の雨の状況に応じて判断することとした。ケアマネさんは動かない。2名聞いてきたのですが、風で飛ばされるなど危険なのでやめましようとなった。当然家族にも確認した。できれば預かってほしいが、安全第一で判断をゆだねるという同意をもらい動いた。

見回りして気になったが、排水溝の水溢れがものすごく多かった。落ち葉などのつまりで掃除しきれない。車の通行に危険、車内に水が入っているのを見た。

自分の施設に泊ませようという覚悟で、避難所という形でデイサービスを行った。近隣センターに来るまで途中も、排水溝の対策をしないと自治会の中でも浸水が起きるかなと心配があった。

## <子ども支援について>

### ・（新木小 PTA）

- 地域の人口減少に伴い、児童数もピーク時の半分に減少。
- 夫婦共働きで核家族化が進み世代間のつながりが薄れてきている。
- 近所のお兄さんお姉さんとのふれあい、またクラブ活動なども減ってきている。
- 11/11 湖北中学校にて教育ミニ集会を行う。（テーマ：手をつなぎ、子供を育てる）

### ・（新あらき）

小中一貫という言葉をよく聞かすが、どのような取り組みか教えてほしい。

### ・（湖北中）

今年度から全中学校で行っている。中一ギャップ、小1プロブレムという問題がある。小中一貫は中一ギャップを解消するための取り組みである。具体的には小学校中学校で話を深めて、中学生になって環境に戸惑ったり、指導方法の違いにより学校に行きづらくなるということを防ぐことが大きな目的である。

### ・（新木小）

学校自体は分離型なので各学校が支援をしていく。ふるさと我孫子を大好きになる子供を育てていこうということで、我孫子出身の先人たちを学んでいくプログラム、外国語取り入れる、算数国語の基礎、ICTの推進といった4本の柱をしっかりとっていくことで滑らかに中学校へ向けて育成していくという取り組みを行っている。

### ・（新木小 PTA）

校舎を一緒にするには予算の問題もあるが将来的には考えていきたい。我孫子市としてできることを今年から始めている。

### ・（あらき野）

小中一貫というのは小学校区と中学校区が同じになるということか？

### ・（湖北中）

小中が同じ場所というのは建物の問題があり不可能なので、基本的にはカリキュラムをつなげていき、小学校からスムーズに中学校の生活に慣れるようにすることを狙いとしている。具体的には黒板、宿題の仕方、授業の進め方など、一本筋を通していこうという取り組みである。

### ・（事務局長）

子供の現状把握について、町を歩いていてもなかなか子供たちを外で見かけなくなった。子供がキャッチボールしていない、公園にも子供を見かけない。そういった現状がある中で、子供の現状を知るためにはどうしたらいいかという意見あれば話してもらえると嬉しい。

### ・（新木小 PTA）

子どもたちが遊ぶ道具としてスマホ、ゲームが普及し、家の中で遊ぶことが非常に多くなった。また中学生は部活動、小学生も吹奏楽部と陸上、また学童や我孫子クラブもあり、平日は自宅に帰って外で遊ぶ子はあまりいない。いるとすれば土日。昔は子供会があったので公民館などで集まって（スマホ以外の）ゲームや世代をまたいで遊ぶ場があったが今はない。この近隣センターがその役目を果たすのにいい場所だと思う。今後に関しては学校自体の門戸を広げて世代間交流の場にできればと思う。いろんな講座を開いて、子どもが希望する講座を受けて、高齢者も子供

の元気をもらおうといった取り組みを学校でやっていきたいなと思う。実際にそのような取り組みをしている学校もある。

・（湖北公民館）

公民館では児童館的役割を果たしたい。子供向けイベントをやっている。勉強の講座をやると新木小の子供たちはたくさん集まる。夏場はクーラーが効いているので子供たちのたまり場にもなる。一昨年までチャレンジランキングをやっていた。例えば新聞紙を切らずにどこまで伸ばせるか、ビール瓶の割りばし落とし、など。

あるとき0となりなくなった。みなフロアで電子ゲームやっている。会話はない。ボードゲームを出したが誰もやらない。今の子供たちは昔のゲームに興味を示さない。いい悪いは別としてそういう現状がありさびしい。

・（ルーチェ）

高齢者向けの簡単な算数（脳トレ）をやってみると、小中学生のほうができなかつたりする。高齢者はそろばん暗算が頭の中にあるが、子どもに話すと「この方式は習ってないからできないよ」という。習ってきた方法が違うという世代間ギャップを感じた。

周りのお子さんを抱えたお母さんに聞いた話では、SNSで睡眠不足で勉強が分からなくなる→つまらなくなる→高校に行って追いつけなくなる→閉じこもってひきこもる→親が仕事に支障をきたすという例もあるようだ。ある高校では、単位不足で退学の可能性があり親が呼び出される事例が15名と聞いた。現在は医療、精神科のほうに見せることになる。SNSとは話せるが人と話せない。自分が何で苦しんでいるかを人に話せなくなっている。社会性を養っていかなければならない。まずは挨拶から。ただし子供たちは興味を引けば入っていける。

・（新木小）

ゲーム機による子供たち疲弊や世代間交流ということで、学校として何をしたらよいか、同じ悩みを持っている。

教育委員会に勤務していた時に、補導で回っても子供たちが外で遊んでいない。学校教育で何ができるか、体験が大事である。体験はすべての礎である。新木小ではこれを大事にしている。具体的には部活動を大事にしている。一生懸命頑張ることで感動も生まれるし、悔しいと思えば頑張れる。

これからどんな時代になるか。知識、技能はいらない、すべてロボットが解決してくれるだろう。試行判断や表現力が必要。感性を磨くこと。これは物事を深く考える力。生きる力。困難があった時自分の考えで解決していくこと、生きる力を育むことを大事にしている。新木小では俳句をやっているが、各学校で工夫している。

・（湖北中）

十年弱前に少年院鑑別所を観察した。スタッフから聞いた話では、一昔前は暴走族、喧嘩で、集団で入ってくるのがすごく多かった。今はそういう子は優等生。今は一人で何かを起こして入ってくる。

湖北中では人間同士のふれあいや考えを大事にしている。全学年全クラスで学びあい活動を行っている。具体的には、少人数（4-5人）で全授業の中で小グループを作り、意見を言い合う。友達の考えを聴いて自分がどう思うかを言いあう、といった授業を行っている。人とのかわり、人の言葉を傾聴すること、自分で判断すること、これらに取り組んでいる。

・（ルーチェ）

新木小の夏まつりに太鼓で参加した。高齢者のための太鼓演奏だったが、子供が集まった。親御さんや子供からどこでやっているのときかれた。人と人のつながりが印象深い夏まつりだった。

た。

- ・（事務局長）

ありがとうございました。

教育関係を経験されている皆さんから、普段子供さんと接している環境の中でいろいろといいお話を聞かせて頂きましたが、自治会の皆さんの中で（子供たちとの）つながりを持った中での感想がありましたら、なんでも良いので聞かせて頂けたらと思います。

- ・（湖北地区民生児童委員）

皆さん大変だという話が多いようなので、明るく何ができるかも考えてみたいと思う。

あと最初の台風の件については、民生委員はまず自分の安全を確保することが第一というのがある。3.11の時に見回りで亡くなった民生委員がたくさんいらっしゃる。そういう意味で民生委員はまず自分の身を確実に守り、それから助けに行く、声をかける、安否を確認するということを行わせていただいている。

湖北中学校の授業開放日に授業参観を見させていただいた。子供と触れ合えなければこちらから出かけると良い。子供たちが町にいなければこちらから出かける。参観だけでなく運動会など機会があるので学校に出かけて行って経験する。学校に出かけて、どんなことをしているかを見るのが大事。例えば家庭科の料理で、出汁の取り方、手開きはこうやるの、など生徒さんたちと交流ができた。みなさん学校の機関紙は読んでいるか？僕もチラッと見る。これから見ようと思う。ホームページも時々覗いてみるとよい。

コミュニケーションは基本的には挨拶。何年生？何やってるの？とにかくなんか話すということをやってみたらいかがでしょうか？

授業聴いていると、思わず手を挙げてしまう。指してはくれないが。聴講生制度というのも考えてもらえたらいいのかなと思った。我々が学校に顔を出していけるといいと思う。もっと学校をオープンにしてくれたらいいと思う。例えば給食オープンとか。

- ・（湖北中）

（湖北中学校の回覧だよりは）私の方で作っているが、あれを作り出すと朝から夕方、丸一日かかる。かなり時間かけているので、ぜひ読んでいただけたら嬉しい。

また現状は保護者のための授業参観があり、連絡いただければいつでもよい。地域の方もぜひ来ていただき、子供たちの様子を見て頂き顔見知りになってもらえたらと思う。

また湖北中ではボランティア、特に授業の面倒を見てくれる方を増やしていきたいと思っている。たとえば家庭科料理、数学、英語など、子供たちも喜び密度の濃い授業にできると思う。ただどなたでも結構というわけにはいかず、地域で信頼、顔見知りの方を口伝えで紹介してもらえたらと思う。子供たちも顔見知りとなり生活しやすくなる。

- ・（新木小）

新木小 PTA 会長の方で湖北中と新木小のコーディネートとして窓口となってもらっている。会長から地域に依頼があった時には、申し込んでいただいて学校に入ることができまるので活用していただけたらと思う。

- ・（新木住宅自治会）

みなさんの現場のお話を聞いていると、最新の状況として勉強になる。自治会でも話していきたいと思う。

- ・（南新木自治会）

南新木は1-4丁目まであり、現在680世帯。1-2丁目は布佐南小、3-4丁目は新木小に通う。た

だ入り組んでいるので両方の情報が入る。学校の機関紙は多岐にわたり書いてあるので、よく読んでいます。いつも回覧ありがとうございます、配布時に時々足りないので多めに入れてもらえると助かります。

今は外で子供を見ない。朝夕の通学くらい。自治会ではラジオ体操を始めた。前期と後期の各1週間、それぞれ150人くらい。最近減ってきて40-50人。小さいお子さんを連れてくる親御さんも来ている。次に始めたのは餅つき大会。子どもが集まってくるので親御さんも集まる。今年は夏まつり5回目、新木小校長にも来ていただいた。ありがとうございます。

あと2-3年前に交通事故が多かったのも、何とかしたいと思いながら何もできていない。356号線への踏切り、および周辺道路など注意が必要。

・（事務局長）

子供の現状ということでお話をしてきましたが、子供と大人のつながり方として挨拶、声を掛け合うのが基本であり最初のステップかなと思う。地域の中でいろいろ思うこともあれどもなかなか実行に移れないと思います。どうしていけないか、ご意見おしゃべりをいただけたらと思います。

・（支援学校）

356号線への踏切周辺の道はちょっと気を付けなければと思う。

子供たちもデイサービスさんを利用し地区の方たちからお世話いただいているが、子供たちから発信は難しい。大人のみなさんから学校に出向いて頂けたら嬉しい。11/9文化祭を予定している。ぜひ来ていただければと思う。

・（新木小PTA）

新木小もイベントを控えているのでお知らせする。

11/16 11:30～：ふれあい広場（バザーイベント）

11/06 AM：体育館にて40周年記念式典。

「感性を磨く」俳句の講師を呼んで講演  
中央学院高校書道部のパフォーマンス  
チアリーディング部の演技。

・（湖北中）

湖北中も文化祭があるのでぜひお越しいただきたい。

11/26：AM文化祭（子供たちの発表）、11:50～バザー、屋台

・（新木小PTA）

挨拶はお互い大事。大人のほうから挨拶、あきらめずに声かけることが大事。返してくれない子も返してくれるようになる。最近はいろいろな社会問題もあり「知らない人には挨拶するな」という親御さんもいる。不審者などもいるので親がナイーブになっているという現状もあるので、私たち（大人）があきらめずに挨拶をする。そのうち返してくれない子も返してくれるようになる。

中学生になると体も大きくなるので、以前ボランティアの募集をしているときに「中学生とかかわるのはちょっと怖い」と言われたことあるが、今そんな子は湖北中にはいない。確かに以前はいろいろありましたが、いま私は胸張って言えます。今私立の中学校に行くのであれば、ぜひ湖北中に行ってほしい。我孫子市の中でも子供らしい子供がいる学校だと思っている。

・（社会福祉協議会）

学校との関わり合いということで、認知症サポート養成講座が成果を上げている。湖北中、新

木小、湖北中、東高まで展開して、高齢者の疑似体験も授業に組み込んでいただいている。子供たちにお年寄りに思いやり、優しい気持ちを持ってもらうことが狙い。30年位前から活動しているが、ここ7-9年間は世代間交流に力を入れている。おまつりや行事、例えばまち協のイベントで、昔遊び、けん玉、将棋など、子供たちがお年寄りに教えてもらって交流できている。

各学校へ出向いたり、公民館でも昔遊びの交流を設けている。こんなことやってほしいということあれば、ぜひ連絡もらえればありがたい。

・（事務局長）

先ほど質問のあった、我孫子市防災行政無線テレホンサービスは、0120-031-676。

本日の課題は重い課題もあった。なかなか意見が出にくいところもあったと思うが、これから何回かプロジェクトをやっていきたいと思う。その際は指名させていただくかもしれませんが相談に乗ってください。

今回は防災について何を行動しなければいけないかという課題も見つかったと思う。災害は待ってくれない。まず自助で自分の身を守る、それから共助として近隣の助け合い、公助は基本的に最後になる。この地域会議は参加することはフリーなので、ぜひ次回以降も参加いただいて地域のコミュニケーションづくりに役立ててほしい。

今回は、令和2年2月23日

・（まち協）

台風の時、近隣センターが避難所で大勢来ていらっしゃったが、市は避難者の把握はしているのか？いらした方に聞いたところ、避難者ではなくお年寄りの自宅を車で何件か回って連れてきたところであった。そのように市に頼るのではなく、近所の人や車などで連れてくるなどしないと、坂もあり雨風の中お年寄りが自力で来るのは大変なのでは、と思った。

・（市民活動支援課）

避難された方は記名しているので市民安全課の方で把握していると思う。私たちの方では人数の報告は受けている。

・（あらかき野）

台風の際は自治会長として何をしたいかよくわからなかった。こうしたらよかった、ああしたらよかったということ話す場を持ってもらいたい。

・（事務局長）

次回の自治会長懇談会の中でも意見交換していきたいと思う。

以上